

自主防災会だより

発行者：東生駒南自主防災会
発行日：令和3年4月1日

第24号



結成 10 年の節目の年を迎えて

東生駒南自主防災会は、令和2年度に10周年を迎えました。

当会は、平成22年12月5日付で有志にて結成され、平成23年度定時総会にて承認を得て発足しました。平成30年には、自主防災会は自治会と一体体制に改定し、自治会会長が自主防災会の会長を兼務し、自治会役員の中から防災会役員を選出することになりました。

自主防災会のこれまでの主な成果として、

- ① 防災ハンドブックの発行
- ② 防災台帳の作成
- ③ 防災訓練の継続的な実施
- ④ だいじょうぶ目印と非常用持ち出し袋の配布
- ⑤ 街頭消火器の普及
- ⑥ 災害救助備品購入及び整備
- ⑦ 防災だよりの発行

が挙げられます。

①は、作成から5年以上の年月の経過があり、部分的な更新しか出来ておらず、継続的な更新が課題となったままとなっています。

③は、6年目の今年度もだいじょうぶ目印を使った情報伝達訓練のみを密を回避しつつ実施されました。

⑤については令和元年10月発行の防災だより20号でお知らせした通り、地域全域をカバーできるよう90m周内に1台ずつ設置が完了し全部で22台の街頭消火器が自治会内に在ります。どなたが使っても良いのですが、使用後は必ず自主防災会までご連絡ください。

⑥については新しい機材が加わる予定があり詳細は後日ご報告いたします。

⑦はこの号を含め、今年度2回発行されました。

③の防災訓練を実施する前に例年必ず班長説明会を実施しておりますが、今年度は新型コロナウイルスの世界的な流行の為に中止せざるを得ませんでした。班長説明会には平成29年に配布した「班長パック」を持参していただき、中に入っている資料を使って班長の役割の確認と、災害時安否確認用チェックシートの防災訓練での使い方の説明等を行っています。

自主防災会では、災害時の初動対応として、各班長を中心とした班単位での応急対応を基本としてきました。向こう三軒両隣のご近所さん同士での安全確認・助け合い、ということです。班長さんは毎年替わりますので、多くの方に防災訓練を経験していただき、災害時には、その時の班長さんが不在でも班単位でスムーズに行動できるようにしていく狙いがあります。

